

いいんていあんぎだい  
【委員提案議題】だいがくじゅぎょうりょうむりょうか  
ドイツの大学授業料無料化についてしりょう  
資料① TABI LABO (<http://tabi-labo.com/52269/schoolfees/>)にほん まんえんいじょう だいがく じゅぎょうりょう すべ  
日本は400万円以上！ドイツの大学が、授業料を全て「タダ」におも き せいさく おも ねんだい こうりつだいがく かぎ  
なんとも思い切った政策に思えるが、ドイツでは2000年代まで公立大学に限っていえじゅぎょうりょう むりょう けいいい いこう ねんかんやく まんえんていど  
ば 授業料は無料だった経緯がある。それ以降もせいぜい年間約15万円程度がじゅぎょうりょう そうば い むりょうか あんがいしぜん なが  
授業料の相場だったと言うから、無料化は案外自然な流れだったのかもしれない。くにぜんたい きょういく あ いみ むりょうか り  
そもそも国全体の教育レベルを上げるという意味では、無料化は理にかなっていてもいる。にほん がくひ ねんかんやく まんえん  
日本の学費は年間約100万円！？にほん だいがく じゅぎょうりょう こうりつしりつ がくぶ ひら  
ちなみに日本の大学の授業料は、公立私立、学部などによってかなり開きがあるものせかいてき み たか ぶるい はい たと もんぶかがくしょう ちょうさ へいせい  
の、世界的に見てもかなり高い部類に入る。例えば文部科学省による調査では、平成24ねんど しりつだいがくぶんかけいがくぶ へいきんじゅぎょうりょう やく まんえん にゅうがくきん せつびひ  
年度の私立大学文科系学部の平均授業料は約74万円。入学金や設備費などがかかしょねんど べつとやく まんえん ねんせい ねんかん まんいじょう がくひ  
る初年度には別途約40万円がかかるので、1年生にいたっては年間100万以上の学費がけいさん もろもろじじょう ちが おな せんしんこく にほん まんえん  
かかる計算となる。諸々事情が違うとはいえ、同じ先進国である日本で100万円のもさ おお  
のが、ドイツではタダなわけで、この差はかなり大きい（&うらやましい！）。がくひ こうとうちゅう  
アメリカ&イギリスでも学費は高騰中じゅぎょうりょうむりょう うご せんしんこく あいだ じょうしき  
では、この授業料無料という動きが先進国の間では常識かということ、そうでもな  
いようだ。

たと ねんねんだいがく がくひ こうとう つづ しゅうりつだいがく ねんかんへいきんやく  
例えば、アメリカでも年々大学の学費は高騰を続けており、州立大学でも年間平均約

まんえん ばあい だいがく ひら おお  
90万円がかかるとされている（ただし、アメリカの場合、大学によって開きが大きいた

めやす きんがく そつぎょうご がくひ しはら なや ひと  
め、あくまで目安の金額だ）。なかには、卒業後も学費のローン支払いに悩まされる人も

おお おな だいがく がくひ こうとうけいこう ねん だいがく  
多いとか。同じくイギリスも大学の学費は高騰傾向にあり。2012年には大学の

じゅぎょうりょう ばい  
授業料がそれまでの3倍になったというニュースもあった。

じゅぎょうりょうむりょうか せいぎ  
**授業料無料化は正義なのか？**

なが ばんざい かんたん  
ここまでの流れでは、ドイツ万歳となってしまうが、コトはそう簡単ではないようだ。

ぜんじゅつ とお かてい けいざいじょうきょう かぎ こうとうきょういく う しゃかい くに  
前述の通り、家庭の経済状況に限らず高等教育を受けることができる社会は、国

ぜんたい きょういく そこあ かんじん なかみ  
全体の教育レベル底上げというメリットがある。しかし、いくらタダでも肝心の中身が

ともな いみ じっさい だいがく うんえい きび  
伴っていないければ意味がないわけで、実際ドイツの大学のなかには、運営が厳しいとこ

よさん さくげん だいがく きょうじゅじん しつていか せつびとうし  
ろもチラホラあるようだ。予算を削減された大学では、教授陣の質低下や設備投資が

むずか きんがく み たんらくてき かんが もんだい げんえき  
難しくなるただただ金額だけを見て、短絡的に考えるような問題ではないが、現役

だいがくせい おや はなし  
大学生やその親たちからすると、やはりうらやましい話ではある。

いんよう  
【インターネットサイトより引用】

資料② 留学くらべ〜る ([http://ryugaku.kuraveil.jp/country\\_germany/p\\_university-study-abroad/](http://ryugaku.kuraveil.jp/country_germany/p_university-study-abroad/))

## ドイツの大学で学んでみよう

語学学校への留学も良いのですが、ある程度ドイツ語力がある場合にはドイツの大学へ

の留学に挑戦してみませんか？ドイツの大学は授業料が無料で外国人の受け入れ

にも積極的です。アカデミックな雰囲気のあるドイツの大学でいろいろな体験をしてみましよう。

## ドイツの大学留学の特徴

■ 授業料がほぼ無料のドイツの大学

■ 英語以外の言葉を習得できる

■ ヨーロッパの事情に詳しくなる

大学の留学先として人気があるのはアメリカ、イギリスとなどの英語圏です。しかし学費

が無料（州によって違う）のドイツの大学を留学先の候補から外すのはもったいない

話です。英語以外の言語が使用できれば、将来の職業選択の可能性も広がるでしょう。

もし英語圏以外の大学へ留学したいと考えている人は、ドイツを考慮に入れてみませんか？

ドイツの大学と交換留学制度のある大学に在籍していれば、留学期間が1年未満の

場合はドイツ語の能力試験は不要です。また大学の寮などにも滞在できるので、住居

探しなどの手間もはぶけます。

【インターネットサイトより引用】